基礎生物学研究所共同利用研究 ワークショップ・報告会実施報告書（　　年度）

年　月　日

　基礎生物学研究所長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（報告者）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名：

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

１．種別（いずれかをチェック☑してください。）

　超階層生物学共同利用研究

　新規モデル生物開発共同利用研究

２．研究課題名（審査結果通知書及び申請書に記載しています。）

３．課題番号（審査結果通知書及び申請書に記載しています。）

４．所内対応者

氏名：

５．ワークショップ／報告会の区分（複数選択可）

　ワークショップ

　報告会

６．開催方法（いずれかをチェック☑してください。）

　オンライン開催

　オンサイト開催

　ハイブリッド開催

（次ページに続く）

７．開催日時

８．報告会／ワークショップのタイトル・テーマ

９．プログラム・タイムスケジュール等

・別紙としてNOUSから別途アップロードしてください。

使用できる拡張子は.pdf, .doc, .docx .xls, .xlsx, .xlsm, .xlsb, .zipです。

１０．参加者・講演者(発表者)リスト（注１）（注２）

（記入例：自然大学大学院工学研究科　准教授　岡崎太郎）

・別紙としてNOUSから別途アップロードしてください。

・様式は基生研HP (http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html) からダウンロードするか、➀氏名、➁機関名/大学名、③部局名/学部、④職名、⑤参加日付、⑥現地参加orオンライン参加 を含めた任意の様式をエクセルで提出してください。（対面開催のみの場合、⑥は不要です。）

・個人情報について、オンラインでの公開が望ましくない情報は、黒塗りにし、公開用の参加者・講演者リストを作成してNOUSからアップロードしてください。

（次ページに続く）

１１．次の１）～３）について自由に記述してください。

１）報告会／ワークショップの趣旨

２）報告会／ワークショップの開催で得られた知見や成果・主な議論

３）参加者／講演者からの代表的な意見・アイディア　等

１２．以下の内容を自由に記述してください。

【ワークショップを開催した場合】

今後どのように共同利用研究を実施していくか、開催を通じて得られた方向性　等

【報告会を開催した場合】

研究成果、さらに今後の研究の展開、開催を通じて得られた見通し　等

１３．備考

（注１）　共同利用研究分担者及び研究会参加者各位に、（注２）のとおり所属先機関名、部局名、職名、氏名が公開されることの了承を得てください。情報公開に関する承認が得られなかった場合、承認を得られなかった方の情報は報告書に記載しないようご注意ください。

（注２）　共同利用研究実施報告書は基礎生物学研究所のホームページ( http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/invite.html )に公開されます。公開できない内容は省略し、簡潔にご記入ください。

（注３）　１．～５．の情報に誤りがあった場合、担当係にて修正の上、自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS) ( https://www.nins.jp/site/nous/ )に再アップロードしますのでご了承ください。